

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミ A	単位認定	1	番匠 明美
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>テーマ:臨床心理学の視点から心と出会う ～箱庭療法等をとおして内的世界に触れる～</p> <p>①臨床心理学的な視点を理解し、子どものこころと向き合うことができる。②箱庭療法等の体験をとおして、心に痛みをかかえた子どもや保護者一人一人に応じて支える工夫を考えることができる。</p>			
【授業の概要】			
<p>主に箱庭療法を理解することやその実習から、心の問題に向き合うことの困難さを実感できるようにする。それらの体験をとおして子どもや保護者を支えることの意味を学ぶ。授業では毎回各自が感じ考えたことを800字程度にまとめることにより、体験したことを意識化する作業を行う。期末には各自テーマを決め、レポートをまとめる。受講者数により実習の内容は変更することがある。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション・ゼミ訪問			
2. ゼミ選択 ・ 臨床心理学的なまなざしについて			
3. 箱庭療法の歴史			
4. 箱庭療法の方法と捉え方について			
5. 絵本の世界をとおして内的世界をとらえる～体験			
6. 絵本の世界をとおして内的世界をとらえる～ものがたる			
7. グループ箱庭			
8. 箱庭ミニチュア作成			
9. 箱庭ミニチュア色づけ			
10. 箱庭療法テーマ別～体験			
11. 箱庭療法テーマ別～分析			
12. 箱庭療法～自己制作			
13. 箱庭療法～自己分析			
14. 体験のふりかえりとテーマ作成			
15. 発表とまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:心で感じることを豊かに体験できるように、様々なことに興味を持って向き合うこと。			
学習のあり方:自分自身が感じること、他者が感じることを大切に共有する態度を習得する。			
復習のあり方:体験したことについては、自分が感じたことを言語化し文章にまとめておくこと。			
【成績評価】			
提出物(50%) 受講態度(50%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小レポートにコメントを記入し返却する。			
【テキスト】			
特に指定せず、必要に応じて資料等を配布する。			
【参考文献】			
織田尚生他 『現代箱庭療法』 誠信書房 ドラ・M・カルフ 『カルフ箱庭療法』 誠信書房			